

[米をつくる]



4月, 除雪をしながら育苗センター(宇荒井原)では, 米のたねまきが行われる。

5月, 育ったなえを農家の人がとりに来る。田んぼでは田うえが始まる。

(月) 米づくりの一年間

1		雪
2		
3		
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハウスたて</li> <li>○ハウスの中でたねまき(共同)</li> <li>○田にひりょうをまく。</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○田をたがやす。</li> <li>○なえをうえる(田うえ)</li> </ul>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○じよ草ざいをまく</li> </ul>	水かんり(みずみ)
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イモチ病のしょうどく</li> <li>○イモチ病のしょうどく</li> </ul>	毎日
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イモチ病のしょうどく</li> <li>○かかしを立てる。</li> </ul>	
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水をとめ, 田をかわかす。</li> </ul>	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いねかり・だっこく・かんそう</li> <li>○売りに出す。(出荷)</li> </ul>	
11		
12		雪

10月, 山々が色づき始め, 稲も黄金色に実る。かり取られた稲が高い「ねり」にかけられている。(かわかす。乾燥)



大きなコンバインはあっという間に稲をかりとり, 同時にだっこくもしてしまう。



米倉庫(JA)には, 町じゅうのおいしいお米がいっぱい

米づくりは、その年の天候の良し悪しでたくさんとれたり少なかったりします。今では何けんかで組合をつくって、共同のライスセンターをつくったり、大きな機械をそろえたりするようにもなってきたよ。

